

清流大川

羽地中学校
学校だより 105号
せいりゅうおおかわ
H30.10.15

教師になる



拝啓
秋冷の候、名護市立羽地中学校の先生方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。名桜大学四年の〇〇です。
教育実習では、校長先生、教頭先生、〇〇先生をはじめ、多くの先生方にお世話になりました。また、生徒の皆さんからも多くの学びを頂き、充実した五日間を終えた今、たくさんの思い出を胸に大学に戻り、改めて無事に教育実習を終えさせていただきましたことに深く感謝申し上げます。
十五日間の実習の中で、先生方の姿、生徒達とのコミュニケーションを通じ、たくさんのお話を学ぶことができました。シマンタル魂のスローガンの下、「やってみよう」という気持ちを全職員

生徒が共有し、一緒に学校をつくりあげていく姿が印象に残っています。
羽地中学校は素直な生徒が多く英検や漢検など、多くのことに挑戦する生徒が多いと感じました。また、校長先生から、「英語は何故勉強する必要があるのか」という問いを聞かれ、私は、「自分の人生を広げるため」と申しました。ですが、それを生徒に授業を通して伝え、生徒が自然と英語を勉強したくなるような姿勢にさせるには更なる実践と研究が必要であると実感しました。
羽地中学校での教育実習は、私にとって一層、教員になりたいという気持ちを高め、絶対、教師になると確信することができた実習となりました。



となりました。今後、校長先生と多くの先生方からいただいたご指導、生徒とのコミュニケーションで学んだことを、忘れずに自らの進路に活かしていく所存です。
肌寒くなりますこの季節ですが、皆様のご健康と名護市立羽地中学校の益々のご発展をお祈り申し上げます。
敬具
平成三十年十月五日
名桜大学教育実習生
〇〇〇



My Dream

103号の続きです。

私は小学校を卒業して、中学生になると、放送委員会に参加しました。全ての学校イベントに貢献し、本当にexcitingでした。毎日のlunchtimeでのアナウンス、sports events、そして、graduation ceremonyなどの重要な機会まで。私は放送を楽しみつつ、いつもbestを尽くして放送しました。third gradeになった今、多くのことを学ぶことができました。私は中学生達を支援し、リードする機会があったことが happyでした。

今年のjune、NHK National Junior High School Broadcasting contest に参加しました。私は心の準備ができません、とても緊張しました。私は myself に言い聞かせました。

「a contest は自分にとって、とても良い経験になる。なぜなら、多くのことが学べるから。」

My teachers、friends、そして私の family は応援してくれました。私は頑張ったので、その日、リーディングのセクションで first prize を獲得しました。これは、my dreamの実現に近づいた気分させてくれました。

私はこれまでの旅で多くのことを学びました。your dreams が不可能だと感じて、あなたは never give up です。前向きな姿勢を持ち、努力を重ねていけば成功するでしょう。

My journey は終わっていないし、これから多くの障害があると予想しているけど、私は乗り越えていけるし、引き続きbestを尽くすし、自分に与えられた全ての機会を得て、newscaster になることを確信します。

続ける習慣 揺るぎない自信

家庭学習ノート(3年成長ノート)で早くも4号のMさん。ノートの中身を見ても、丁寧で綺麗な文字や数字が並んでいます。決して急がず、確実に日々の家庭学習をこなしており、勉強が習慣化している様子がうかがえます。希望高校は、H高校です。様々な模擬問題や過去問題にも挑戦し、一つの答え、一つの考え方にこだわらず、多角的な考え方や技を身につけていってくださいね。既に実行しているかな？

